

チャイルドの暮らす地域とセンターの取り組み

センター名： **リホック・バタ・デベロップメントセンター**
英語名： **Lihok Bata Development Center**
センター番号： 51 番
活動地域： フィリピン、北ザンボアンガ州、ディポログ市
協力開始日： 2006 年
センター運営団体： Mindanao Resource Institute for Community Empowerment Inc. (MINRICE)

地域状況

フィリピン、ミンダナオ島のサンボアンガ半島の北端に位置するディポログは「西ミンダナオ島の玄関口」と呼ばれ、北サンボアンガ州の州都でもあります。港の近くを除いては緑が濃い農村地帯が広がり、主にトウモロコシや米、ココナッツを生産しています。地域にはキリスト教徒とイスラム教徒、少数民族のソバニン族が暮らしています。センターの活動する地域は町から乗合バスで 40 分程のところにある小さな農村で、人々は小作人や、不定期雇用の農業労働者として収入を得ています。ゴミ捨て場で換金できるものを拾って生活する人々もいます。月の平均収入は 2,100 ~ 3,000 ペソで、国の定める最低生活費（6 人家族が 1 ヶ月暮らすのに必要な最低限の経費）である 12,500 ペソを大きく下回っています（1 ペソ 2 円；2009 年現在）。1 日 3 回の食事を取れない家庭もあり、子どもたちの約 3 割は栄養不良です。地域には小学校が 3 校、ハイスクールは 1 校ありますが、収穫期には家族を助けるため、学校に通わずに働く子どもも多く、未就学や学年の遅れ、ドロップアウト（中退）の問題が絶えません。



ココナッツ収穫を手伝う子どもたち



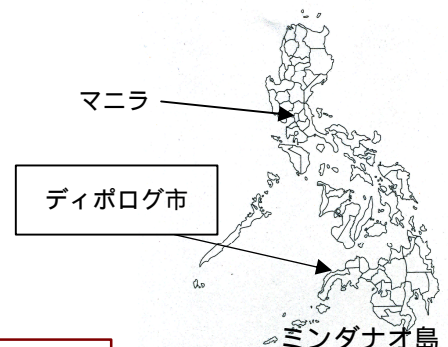
チャイルドたちの暮らす家

センターの取り組み

センターは 2006 年にチャイルド・ファンド・ジャパンの支援によって開設されました。子どもたちの教育と衛生環境を整えることを当面の目標としています。スポンサーの皆さまからの支援で、教育支援や栄養改善プログラムを行います。また親たちには職業訓練などを実施して人々の生活改善に取り組みます。そして将来的には親たちで組織を運営し、自らの力で子どもたちの成長を支えられるよう、自立に向けて活動していきます。



チャイルドたちの通う学校



*チャイルドは、卒業・就職・転居・家族の生活向上などの理由で支援を離れることがあります。その場合は事務局からご連絡を差しあげ、支援を待つ新しいチャイルドをご紹介します。